

星の夢百聞

第205号

発行日 2023年3月1日
発行 株式会社 おいらーく
札幌市東区東苗穂9条3丁目1-40
発行人 星野 二三江

「鬼は外、福は内」毎年恒例の豆まきの季節がやってきました。前もつて枠に見立てた紙の豆入れを利用者さんに作って頂き、今年は一日に渡り行いました。

赤鬼と青鬼が「ウオウオ」と大きな声で利用者さんに襲い掛かります。初日は利用者さんは「豆を投げずに鬼が痛がらないよう優しく豆をぶつけます。鬼たちも「ウオウオもつと思いつきり投げいいぞ」と促すも、やっぱり優しい利用者さんでした。

二日目は初日と違い、数名の利用者さんが、鬼の急所めがけて思いつきり「鬼は外！」と勢よく投げてこられ、鬼たちは涙目になりながら「ウオウオ」と退散。

両日ともに幸運が利用者さんに舞い降り、最後に鬼たちと記念撮影をされて笑顔が溢れる一日間となりました。(南俊也)



節分行事



鬼は外と！ 福はうち

デイトレセンター
Lpasa エルパサ

エルパサでは移動スーパーのとくし丸だけではなく、「ぱんやみのり」というパンと野菜の移動販売が来られています。北海道産野菜を練りこんだ生地で作った無添加のパンが好評で、開催告知後は「どんなパンがあるのか?」「エルパサで作ったパンとどっちがおいしいの?」といった期待の声が上がっています。2月4日にも来られてこの日は1日遅れましたが節分限定の商品もあり、売り場はたくさんの利用者さんが集まり大盛況で、パン以外にもクッキー、マドレーヌ、野菜などの販売もあり、あつという間に完売となっていました。

利用者さんからは「デイに来る楽しみが一つ増えた」「家族へのお土産にしたらすごく喜ばれた」等の声が聞かれました。今後はエルパサ利用者のみならず、近隣住民の方などにも参加して頂き地域交流・貢献できる場を作ったり、エルパサ内のパン作りに助言を頂きスキルアップにつなげる等、考えたいと思います。

又、エルパサカフェでは新たな取り組みとして、これからエジカや電子マネーでのご利用が出来るようになりますのでそちらも併せて皆さんにご利用して頂ければと思います。次世代型らしい取り組みを今後も取り入れていければと思います。
(佐藤徹治)



支払い方法も次世代化!



鬼は～そと！福は～うち～

節分行事

No.2

グループホーム 夢

今年もやつてまいりました、毎年恒例行事「ザ・節分!!」ユニット別の開催となりましたが、無事に実施することができました。

さくらユニットでは、豆まきならぬ新聞ボール撒きで鬼退治！新聞ボールは一週間前から職員が入居者様と一緒に大量生産。ものすごい意気込みの女性職員が鬼役に：迫真の演技で迫る鬼に爆笑しながらボールをぶつける入居者様、あまりの迫力に固まってしまう入居者様、怒りながら投げつける入居者様、それぞれ大きな笑い声と共に楽しめました。

ひまわりユニットからは「鬼はそと♪福はうち♪」の音楽が…！技能実習生を含め鬼の格好で可愛い踊りを披露していました。ベテラン男性職員が鬼の格好で踊り：後ろ姿に思わず爆笑でしたが、入居者様にはとっても好評でした。さくらユニットから鬼気迫る迫真の演技の鬼も登場し、大盛り上がりとなりました。

おやつには甘納豆や鬼のホットケーキをみんなで召し上がり、行事後も「豆まき」の歌を何度も入居者様に歌い続ける技能実習生がとても印象的でした。来年はまた一味違った豆まきを、僕が鬼役になつて盛り上げたいと思います！！！（林 大輔）



みんなで節分を楽しみました！

小規模多機能型
居宅介護事業所

えくぼ

（鎌田 裕香里）

「来年も来るからなー待つて居れよ！」
と、去つていった青鬼。もちろんおどけて言つたものです
が、本心もやはり「この皆様
と来年も無事に豆まきをした
い！」そう思つての事だつた
と思います。利用者様の笑顔
に触れ、職員一同青鬼と同じ
く、来年も無事に皆様と節分
を迎える！そう気持ちを新たにした1日がありました！

今年は迫力のある青鬼が襲来!!



COCO元町式番館では2月3日に豆まきを行いました！豆まき当日、COCO元町式番館には2人の青鬼（10万22歳と10万51歳の2人）が襲来！次々と利用者様の居室へ乱入しました！「鬼はー外！」「福はー内！」。力強く豆を投げる方、「ご苦労様」と優しく冷静に声を掛けてくださる方、驚いてのけぞる方、本当に泣き出す方（○々木様ゴメンナサイ！）などなど。中には襲い掛かる鬼に豆まきの由来などを滔々と説明してくださる入所者様もいらっしゃり、青鬼も正座をして聞き入るシーンなど、悲喜こもごもの豆まきと相成りましたw

その後入所者様達は青鬼にホールに集められ、「棒体操」ならぬ「鬼体操」をさせられ、1年間の健康と無病息災を誓わされておりました。鬼体操が終わり、最後はめいめいに「豆」ならぬ「甘納豆」をいただき無事終了（年の数ほど大量ではございませんw）若干名、寿命が縮まった方もいらっしゃるかもしませんがw 皆様一様に笑顔で、楽しく参加されていらっしゃいました。



鬼は～そと！福は～うち～

節 分 行 事

No.3



生きがいサロン東雁来
鬼は～そと！福は～うち～

豆まきの後は、的当てゲームを行いました。的の鬼が少し可愛くなってしましましたが、いざボールを投げるとなると皆さん全力で投げていました。車椅子から立ち上がり投げる方がいたり、全力で投げるあまり、的を飛び越えてしまう方もおりました。

最後には、的当ての鬼の顔をはめて笑顔でパシャリ。「楽しかったよ」、「これで今年は風邪ひかないね」とお言葉を頂く事が出来ました。（今野俊介）

最後には、的当ての鬼の顔をはめて笑顔でパシャリ。「楽しかったよ」、「これで今年は風邪ひかないね」とお言葉を頂く事が出来ました。（今野俊介）

豆まきの後は、的当てゲームを行いました。的の鬼が少し可愛くなってしましましたが、いざボールを投げるとなると皆さん全力で投げていました。車椅子から立ち上がり投げる方がいたり、全力で投げるあまり、的を飛び越えてしまう方もおりました。

豆まきの後は、的当てゲームを行いました。的の鬼が少し可愛くなってしましましたが、いざボールを投げるとなると皆さん全力で投げていました。車椅子から立ち上がり投げる方がいたり、全力で投げるあまり、的を飛び越えてしまう方もおりました。

豆まきの後は、的当てゲームを行いました。的の鬼が少し可愛くなってしましましたが、いざボールを投げるとなると皆さん全力で投げていました。車椅子から立ち上がり投げる方がいたり、全力で投げるあまり、的を飛び越えてしまう方もおりました。



最後は顔はめでハイチーズ！！

生きがいサロン東雁来

新しく作った的当てゲームを行いました。季節を感じて頂くだけでなく、ゲームも取り入れて楽しんで頂こうと考えて企画しました。

鬼を模した的を作り、そこにボールを投げて頂き、入った個数に応じてどんぐりマネーを賞金としました。的を作る際には、利用者様にも一部手伝って頂きました。鬼の顔を見ると「節分かい？」と直ぐに思い至り、準備段階から楽しみにされておりました。

当日、鬼に扮した職員がデイルームに登場！雄叫

★1 「これでいいのだ」は前の事「これでいいのか？」を日々考える

★2 人の想いは十人十色 柔軟な発想と展開を！！～脱！！固定観念～

★3 「ありがとう」職場の絆は、笑顔から

★4 優しいことばで深まる絆、こころ配りで広がる和

★5 立ち止まって何も変わらない！勇気を出して一步踏み出そう！

★6 逆転の発想は好転の前兆（きざし）～動き出してみよう失敗を恐れずに～

★7 過去は未来で変えられる 踏み出す一歩があなたを変える

★8 常識なんて吹き飛ばせ！あたり前に流されず 新しい発想を

★9 新しい時代 広がる多様性 まっさらな地図で 道を進もう

★10 謙虚であれば視野が広がる みんなで築こう 信頼の輪

★11 未来を夢見る心 仲間を想う心 仲間と助け合う心

★12 一歩進めば何かが変わる～当たり前を見直し、新しい明日へ～

★13 良き事は変革！ 悪しき事は改革！！未来は変えられる！！！

★14 さあ新時代へ！情熱と使命を胸に！行動し想像するあなたの手には輝く未来地図

★15 問いかけよう 過去の自分に 追いかけよう 未来の自分を

そして見つけよう 理想の姿を

★16 時代に打ち勝つ発信者になろう

・自由な発想力 ・確かな行動力 ・認め合える職場

おいらーくのスローガンについて！弊社では、毎年トップがその年度の経営方針を仕事のはじめの日に発表します。
ちなみに、今年は『あなたの常識を疑え！天動説から地動説へ!!』です。これを元にスローガンを職員から募集しました。職員1名1題の限定で今年はなんと116題の応募があり、全職員の3分の1以上が関心を持って応募してくださいました!!この中から最終選考に残った16題をここに掲載いたします。

最終選考

2023年度版
おいらーく

スローガン候補作



鬼は～そと！福は～うち～

節 分 行 事

No.4



ちょっと異色な？楽しい節分行事でした！

ようやく入浴等から戻って来られたところで落花生入りの紙の箱を配るのですが、やはり今年も投げずに食べてしまふ利用者様が数名出るという毎年恒例のハピニングもありましたが、皆様には大変喜んで頂けました。ありがたい事です。

その後は鬼と一緒に記念撮影会で、皆様に喜んで頂けた様です。今年の豆まき行事を振り返つてみると、例年と比べかなり異色の節分となつてしましましたが、蓋を開けてみれば昨年の節分よりも盛り上がった様に思えます。

来年の節分でも今年以上に盛り上がって頂ける様に出来たらと思っております。そして今回参加された方々が1人も欠ける事無く、更に新しい方々もたくさん増えて今年以上に盛り上がる最高の行事に出来たらと願っております。（田中 寿）

デイサービス
てんやわんや新道

2023年2月3日、午後14時から、てんやわんや新道では恒例の節分・豆まきの行事が行なわれましたが、今年の節分開始当初には入浴等で人数が集らなかつたので、急遽空いてしまつた時間を利用し鬼の仮装をした状態でのピアノ・チケット演奏会が行われる事となりました。わたくしがフェイスガードを改造して作成した鬼のお面ですが、もの凄く視界が悪く、こんなに視界の悪い中で演奏したのは人生初かも知れません。視界が悪すぎる中でのおぼつかない演奏でしたが、皆様には大変喜んで頂けました。

ようやく入浴等から戻って来られたところで落花生入りの紙の箱を配るのですが、やはり今年も投げずに食べてしまふ利用者様が数名出るという毎年恒例のハピニングもありましたが、皆様には大変喜んで頂けました。ありがたい事です。

その後は鬼と一緒に記念撮影会で、皆様に喜んで頂けた様です。今年の豆まき行事を振り返つてみると、例年と比べかなり異色の節分となつてしましましたが、蓋を開けてみれば昨年の節分よりも盛り上がりいました。

来年の節分でも今年以上に盛り上がって頂ける様に出来たらと思っております。そして今回参加された方々が1人も欠ける事無く、更に新しい方々もたくさん増えて今年以上に盛り上がる最高の行事に出来たらと願っております。（田中 寿）

小規模多機能型居宅介護事業所

えくぼ東雁来



大正琴、頑張って練習しました！

バレンタインは、プリンアラモードに利用者さまが好きなフルーツのトッピングをしました。ハートの大きな風船のプレゼントに感激して頂き、「枕元におくね。」と話されました。

来月も皆様、職員一同一緒に楽しめるように努めます。（石田 美穂）



看護小規模多機能型居宅介護事業所

えくぼ元町

今年の節分はとてつもなく強そうな赤鬼がやって来ました！鬼が建物内を周り、鬼がやってくるとびっくりする人も居れば、一緒になつて金棒を持ち鬼になる人も居て節分を感じて頂けたように思います。そして最後は「鬼は～外！福は～内！」と各居室から大きな声で鬼を退治する声が聞こえてきました。

冬期間はなかなか外出する機会も無くなってしまいます。季節や月を感じて頂けるような行事を提供していくように努力して参ります。（山本 亮太）



えくぼ元町に赤鬼が来たぞー！



住宅型有料老人ホーム「ココ輝楽」キラク雪あかりの路

2023

ココ輝楽では小樽では有名な雪あかりを「キラク雪あかりの路2023」と称し2月10日(金)夕刻より行いました。雪あかりとは無数のスノーキャンドルによって街中が装飾され幻想的な小樽の冬の風物詩です。公式ロウソクは職人の手で一本一本手づくりで製造された物が8個入り100円でこの時期になるとコンビニでも購入できます。

前日からきらく職員に加えサポートユアライフの有志の方の協力を得て、バケツキャンドル作りから始まり、まずはYouTubeの動画にて作り方の情報を得ました。バケツキャンドルといっても水のみ、水+雪、雪のみなど好みで作ります。雪玉を重ねての雪玉キャンドルもあります。経験者は何人かいました。今回は水+雪にして一晩おきましたが雪の量が多かつたため翌日はバケツが膨張し、ポータブルストーブで温めてからはずすはめになりました。副ホーム長は水だけと言つたのですが、私が雪を入れようと言つたので…、来年は副ホーム長の指示に従います。

あとは、飾る位置。十数個のバケツキャンドルに加え雪玉キャンドル2個に雪だるま1個を駐車場に建物からよく見える位置に設置しました。

夕食前の17時前に点火。だんだん暗くなりゆらめく灯りが浮き上がり、きれいに癒されます。夕食後、入居者様には告知しておりましたので、車イスでご自分で移動できない方にはお声をかけ窓際まで、「あらーきれいねえ。ここにいてもこんなきれいなものが見れてうれしいわ!!」とおっしゃつて頂きました。「今日1日だけなのかい?」「スノーキャンドルをもつとたくさん作るときれいだね」「火の後始末は大丈夫かい?」等など。貴重なご意見を頂きました。

来年は色々勉強もつともっと入居者様に喜んで頂きたいと思います。公式ロウソクは4時間はゆうについているので、しっかりと消火し、後始末も行い帰宅しました。キラク職員、サポートユアライフの有志の皆さん、寒い中ご協力ありがとうございました。(金森 真希)



寒い中、見ていると心があつたくなるような雪あかりでした。



てんやわんや本町!

介護報告

昨年12月よりご利用開始となつたN様。昨年夏頃より認知面の低下が見られ、介護申請を行なうが、その後も更にADLが悪化し、歩行機能低下。日によつては1日中ソファーの上で過ごす事もあり、「入浴や排泄面での支援が必要になつて来て困つて」いるとケアマネージャーさんより相談がありました。息子様も今まで介護に携わつて無かつた為、何をどうすれば良いのかがわからない状態でした。排泄も常に失禁の為皮膚トラブルも見られ、玄関前にある階段は昇降出来ず外出も行なえません。車椅子を職員2名で昇降してご利用が開始となりました。

ソファーに座つたままの為、体幹が弱く座位保持不安定なN様。その為疲労感も強く、短い時間で対応をしておりました。1か月程すると「最近よく話すようになつた」と息子様より情報があり「おやつ作りとかパン作りとかやってみたいと言つて」と。利用時間を伸ばし、パン作りへも参加。他利用者様から「手伝おうか?」と一緒に作る事で「ありがとう」と笑顔が増えてきました。他利用者様からも「最近元気になつてきたな」との声が聞かれるようになりました。また他利用者様が「あれ元気だった?」と声をかけられるがN様は認知症により全くわからない様子。よく話を聞くと以前N様がおやき屋さんを営んでおり、その時常連で通つていた方が本町を利用していたのです。昔の話をされてもN様は会話に繋がらずになりましたが、3時のお菓子を召し上がつた後、食べ終わつた食器を下げようと歩き出す姿や、ごみを拾つて自ら捨てに行く姿が見られるようになつたのです。今までご自分から歩き出す事がなかつた為驚きました。

少しずつ歩行機会を増やしていく事です。3階へ向かうエレベーターを待つて「どこいくの?」と聞かれた為「3階で昼食ですよ」と伝えると「そしたらこっちだね」と階段を指差し進むN様。手すりに掴まってもらうと一段一段ゆっくりと昇り途中「まだ先だけどいけるかしら?」と微笑みながら一步一步前に進み上がる事が出来ました。ご自宅でもご自分から歩くようになり、息子さんは「目が離せなくなりました」とおっしゃつておりました

が、これからも歩行訓練をし、転倒の心配がなくなるよう支援したいと思います。直近の目標は「ご自宅の階段を昇降出来るようになる!」です。(花村 絵美子)

とっても頑張っておられます!



なへちゃんの

4コマ

介護日記

NO.21



第90弾

ドラムす子でバチ当たり人間のよもやま話



先日夫婦で30年ぶりにスキーを購入しようとスポーツ店に行つてみた。我々が滑っていたスキーとは明らかに違う。形状も長さも幅もすっかり変わっていた。しかしほり板だけあれば良いというわけにはいかない。金具、靴、ストックが絶対必要だ。スキーウエアや手袋も3年前のものはやはり恥ずかしいだろうということで調子に乗つてこれらも購入。そして地元小樽の天狗山スキー場へと我々は向かつた。

新調したウェアをまといスキー靴に履き替えた。気持ちが高ぶつてくる。駐車場からリフト乗り場までは斜面をスキーをかついで登る。わずかな距離だがこのときに体力の大半を消耗したような気がする。久しぶりだからリフトに乗るにも緊張感があつたが問題は無かつた。妻はどこかにおでこをぶつけたと言つていたが。ここ天狗山のそれぞれのコースは距離こそさほど長くないまでも変化に富んでいて、初心者から上級者まで存分に楽しめる。今日の我々はもちろん初心者だ、最初はファミリーコースだろう。何度もここを滑り新しいスキーにもなじんできた。今度は一気に麓まで降りよう。エッジがたてる爽快な音を聞きながら風を切るスピード感が心地よい。一度乗れた自転車と同じようにスキーも一度滑れたらその感覚は忘れないものなのだな。

何回かそんなことを繰り返しているうち道をあやまり上級者向けのコースに来てしまつた。最大斜度40度以上こぶだらけの難コースだ。今日の我々にはまだ無理だろう、だがこのくらいの斜度なら昔は平気だつたぞ。まずは斜め横断しながら慎重に滑つた。それでも足には相当の負担がかかっている。ターンしようとしたその時バランスを失い倒れて転がり落ちた。片方のスキー板とゴーグルがはずれ10メートルほど上に散乱している。しばしもがいて「大丈夫?」妻がはずれたスキーとゴーグルを持ってやつてきた。すまぬ、かたじけない。この恩は一生忘れない。身を起こしたいが急斜面でなかなか思うように動けない。体はどこもなんともないのだが。そういうしてると上級者のスキースクールの指導者と生徒たちが私を取り囲み危機感をにじませ「大丈夫ですか!」と口々に問いかける。恥ずかしすぎる。結局彼らに助け起こしてもらひスキーもはかせてもらつた。丁重にお礼を言い別れ際指導者から「スキーは生涯スポーツですから無理のないところで楽しみましょう」という有難いお言葉まで頂戴した。リフトに乗つていてこの一部始終を見ていた客もいただろう。ああどこかに身を隠したい。気持ち直しました安全なコースを何度も滑つたが、足腰がかなり辛くなつてしまつたので結局3時間ほど滑つたところでリタイアした。自分を過信し周りの多くの人に迷惑をかけてしまつた。

(蓮川享士)

心は折れたが足は折らずにすんだ…とほほ。また行こう、次は孫を連れて。



特集 人間万事塞翁が馬



似顔絵作:松田 郁美

大正13年2月3日生まれのYさん、実家は綿屋を営んでおりホテルなどの布団を手掛けていたそうです。実家は札幌駅のすぐ近く（アステイ45の付近のこと）にあり2男3女の末っ子として生まれるが、兄は若くして亡くなり、3姉妹として育ち、子供の頃は電車に乗つて海水浴に蘭島に家族で行っていた。「当時も海の家でラムネやジュースを売つていて飲んでいたよ：」札幌駅のそんない近くに住んでいたなんて実はお嬢様…？

成徳女学校を卒業され「勉強は得意じゃなかつたけど落第しないでまあまあの成績だつたから卒業できたんじゃないかな？」女学校卒業後五番館デパートに就職、初めは万年筆売り場にいたが事務に移動となりタイピストとして働いていたそうです。仕事の後には友人と洋食屋でカレー・ハンバーグ、オムライスなど外食をして帰るのがお決まりで「友達が洋食好きだつたから付き合つただけなの」と話されていましたが、実はYさんも外食するのが楽しみだったようです。冬はスキー、夏は水泳と身体を動かすことが好きだったY様は、若いころはダンスホールに踊りに行つたりと活動的で昔は異性にもてていたと笑顔で、今でも可愛らしくなっています。

(三澤 千秋)

来年は100歳ですからのんびり元気に過ごしてくださいね。

お年は100歳ですからのんびり元気に過ごしてくださいね。

い20歳で「多分お見合い結婚？」
昔のことだから忘れちゃつた。」結婚後すぐに満州に渡り2年暮らし、夫は満州の営林署で勤務していたが終戦とともに帰国。その後は札幌で生活し、3女をもうけました。結婚してからは専業主婦だつたYさん、得意料理は何ですか？と聞くと「何だつたかな…忘れちゃつた、何でも作つたよ」冷蔵庫の中にあるもので簡単に作るのが主婦の鏡！！

平成8年に夫が亡くなつたあと、しばらく独居したが、娘様家族と97歳まで同居。その後、身体の衰えと足腰の痛みがありせんりに入居。Yさんはちょっと寂しがりで職員の姿が視界から見えなくなると、だれかと職員を呼ばれます。が、算数や国語のドリルをお渡しすると一生懸命考えて問題を解かれていらつしやり、たくさんの方とも仲良くなり、一緒にしゃべりをしたり、歌を歌つて楽しみ、身体を動かすことは難しくなつてしまつたけれど、元気に活動される姿を今後も楽しみにしております。

銭函デイトセンター

はじめまして。昨年12月から銭函デイトセンターで介護職員として勤務しております山内謙一朗です。これまでデイサービスで働いていましたが以前の職場と違うこともあり、まだわからないことが多いですが頑張って覚えていきたいと思います。

利用者さんと笑顔で過ごしていきたいと思います。よろしくお願ひいたします。



山内 謙一朗

新入職員 ご紹介

今年の2月から銭函デイトセンターで勤務となりました未永 哲士です。

まだこの職場に慣れていない、覚えることも多くありますが早く慣れていく、利用者さんが長く健康で過ごすことを手助けしていけたらと思っています。よろしくお願ひいたします。



未永 哲士

おいらーく

2月行事内容と3月行事予定

令和5年3月行事予定

- ひなまつり

せんり

- 移動販売（第1.3月曜日）
- 15日 タイトル未定

うらら伏古

こえ
こくぼ
東雁来
式番館

- 金さん銀さん（訪問理容）
- とくしまる（訪問販売）
- ひな祭り会

令和5年
3月行事
予定

- ひなまつり

こえ
こくぼ
元町
&

- ひなまつり

こえ
こくぼ
元町
&
式番館

- 4日・18日 趣味の会
- 毎週月・火・土 将棋教室

錢函お散歩カフェ

- ひな祭り
- 誕生会
- 訪問理容

ココ輝楽

令和5年2月行事内容とイベント風景

- 節分



- 移動販売
- 節分



- 金さん銀さん（訪問理容）
- とくしまる（訪問販売）

- 節分イベント
- バレンタイン行事



- 3日 節分&誕生日会



- 3日 節分

- 14日 バレンタインデー



- 4日・18日 趣味の会

- 将棋教室開催！

- 節分
- 雪あかりの路
- 誕生会



経営方針

『高齢者も障害者も住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域づくり』を目指し、つねに『ご利用者様の立場にたった総合的な介護・福祉企業』のあるべき姿を探究し続けるオーナーワン企業を目指します。